

村田茂昭先生を送ることば

経営学科長 眞瀬勝康

本学教授の村田茂昭先生には、健康上の理由から平成16年3月末日をもって惜しまれつつ退職されます。

先生は昭和13年10月12日に札幌市でお生まれになり、昭和32年3月北海道立西高等学校をご卒業後、同年4月北海道大学教養部理類に入学なさいました。昭和34年4月、同大学工学部電気工学科に移行、昭和36年3月に同大学工学部電気工学科を卒業されました。

大学時代の先生はご研究のかたわら北海道大学マンドリンクラブに所属し、ギターを担当されましたが、後年女性問題研究家になった沖藤典子氏とは同期だったそうです。同年4月には同大学大学院工学研究科修士課程（電気工学）に入学され、電磁波とコンピュータの研究をされました。

昭和38年3月に同大学院修士課程修了後、同年4月には北海道大学工学部の専任講師として奉職され、翌年4月には早くも同大学工学部助教授に昇進されました。北大工学部時代の先生はコンピュータの研究と共に高度成長時代のわが国に必要とされたエンジニアを養成し、日本経済発展に不可欠の人材を電気産業界に数多く送り出されました。優秀な卒業生の中には、本学の宮越昭男現学長もおられます。

先生を札幌大学女子短期大学部経営学科経営管理専攻にお迎えしたのは平成元年4月からですが、爾来16年間、女子短期大学部経営学科の情報教育と運営に大きな貢献をされました。先生は平成5年に経営管理専攻主任となられ、専攻の取りまとめ役として昨年までご苦労されました。近年はご健康に優れないなかで平成13年には経営学科長も兼任され、学科運営にご尽力いただきました。

このような専攻と学科運営でご多忙にもかかわらず、先生は深い学識と指導力をもって未熟な学生の指導に力を注ぎ、多数の卒業生をビジネス社会に送り出されました。

このたび先生の突然のご退職に接して、私ども女子短期大学教員一同は、長年にわたる先生の本学部に対する多大のご尽力に感謝すると共に、今後の先生のご健康とご多幸を心より祈念し、お別れの言葉といたします。